



ーJPX 公式データー

データフィードサービス ファイル仕様書
(CSV 形式)

Ver. 3.25

適用開始日:2023年10月10日

株式会社 JPX 総研

～ 目 次 ～

	ページ
1. 概要	1
2. 接続方式	1
3. 配信方式	2
3.1 配信対象情報の概要	2
3.2 提供ファイルの接続方式及びファイル配信タイミング	3
3.3 データフォーマット	4
3.4 提供ファイル内容	6
3.4.1 銘柄マスタ	6
3.4.2 四本値（現物）	18
3.4.3 信用取引週末現在高（申込日付）	21
3.4.4 四本値（デリバティブ）	25
3.4.5 銘柄メンテナンスファイル	30
3.4.6 上場会社株式数	35
3.4.7 転換行使状況	38
3.4.8 ToSTNeT 取引 超大口約定情報	43
3.4.9 四本値（カーボン・クレジット）	44
4. 障害時の運用	45
5. お問い合わせ先	45
付録1（数値データについての留意点）	46
別紙（商品取引識別、識別コード、種類コード一覧）	

1. 概要

本仕様書は、JPX総研によるTokyo Market Information JPX公式情報のデータフィードサービスをご利用する際に必要な事項を取りまとめたものです。

2. 接続方式

JPX総研の情報配信システム（以下、「本システム」）とユーザシステムとの接続には、以下の方式が使用可能です。いずれの方式においても、ユーザシステム側が一次局（ユーザシステムからの起動により開局する照会モードでの接続）となります。

- ①全国銀行協会連合会（全銀協）の定める通信手順による接続
 - ・「全銀協標準通信プロトコル・TCP/IP手順（arrownetを用いた接続）」
- ②FTPによる接続
 - ・インターネットを用いたFTP
 - ・arrownetを用いたFTP
- ③SFTPによる接続
 - ・インターネットを用いたSFT

各接続方式の詳細については、以下をご参照ください。

- ToSTNeT取引超大口約定情報、四本値（カーボン・クレジット）に関する接続仕様
「システム接続仕様書（ToSTNeT取引超大口約定情報、四本値（カーボン・クレジット）、売買内訳データ）」
- “3. 1 配信対象情報の概要”に記載のファイルのうち、上記2ファイル以外
「JPX総研情報配信システム接続仕様書」

3. 配信方式

3. 1 配信対象情報の概要

配信対象とするファイル概要は、以下の通りです。

項番	提供情報	英語ファイルの有無	概要
1	銘柄マスタ	有	全国証券取引所に上場する内国上場銘柄を対象に、商号・売買単位・株主名簿管理人・定款に記載された配当基準日・上場市場・信用貸借区分等の基礎的情報に加え、単元株数・決算期・中間決算期・配当落ち等のフラグ等の詳細な情報を提供します。 ※外国上場銘柄及び外国商品（ETF、DR、REIT、JDR等）に係る情報は本サービスではご提供していません。
2	四本値（現物）	有	東証上場銘柄を対象に、データ提供日の株式・債券銘柄の、始値、高値、安値、終値等の情報を提供します。
3	信用取引週末現在高（申込日付）	有	東証上場銘柄を対象に、申込日付現在の各銘柄別の信用取引週末現在高及び集計情報を提供します。
4	四本値（デリバティブ）	有	大阪取引所における先物取引及びオプション取引並びに東京商品取引所における先物取引の、提供日におけるデリバティブ銘柄ごとの日々の四本値情報を提供します。 ※フレックス銘柄に係る情報は本サービスではご提供していません。
5	銘柄メンテナンスファイル	無	大阪取引所における先物取引及びオプション取引並びに東京商品取引所における先物取引に係る銘柄メンテナンス情報（当日又は翌営業日に有効な銘柄の各種情報）を提供します。
6	上場会社株式数	無	東京証券取引所、福岡証券取引所（単独上場）及び札幌証券取引所（単独上場）に上場している内国上場会社の上場会社株式数を提供します。
7	転換行使状況	無	東京証券取引所の上場会社が発行している、新株予約権付社債の行使状況・種類株の転換状況等を提供します。
8	ToSTNeT 取引 超大口約定情報	無	単一銘柄取引（ToSTNeT-1）において売買代金が 50 億円以上の取引（売付け及び買付けの双方が顧客の委託によるものを除く。）の情報を提供します。
9	四本値（カーボン・クレジット）	無	東京証券取引所におけるカーボン・クレジット市場の提供日における売買の区分ごとの日々の基準値段、四本値及び総売買高のデータを提供します。

3. 2 提供ファイルの接続方式及びファイル配信タイミング

提供ファイルごとに可能な接続方式及びファイル配信タイミングは以下のとおりです。

ゴールデンウィークや年末年始に関連して、提供サイクルが変更となる場合は、メールにて連絡いたします。

項番	提供情報	インター ネット FTP	arrownet FTP	インター ネット SFTP	arrownet 全銀 TCP/IP	提供頻度	提供時刻
1	銘柄マスタ	○	○	○	-	日次	19:30
2	四本値（現物）	○	○	○	○	日次	16:30
3	信用取引週末現在高（申込日付）	○	○	○	○	毎週第2営業日	16:30
4	四本値（デリバティブ）	○	○	○	○	日次	18:30
5	銘柄メンテナンスファイル	○	○	○	○	日次	15:30 18:20 23:15
6	上場会社株式数	○	○	○	-	毎月20日（休日の場合は前営業日）	15:30
7	転換行使状況	○	○	○	○	毎月20日（休日の場合は前営業日）及び毎月第1営業日	17:00
8	ToSTNeT 取引 超大口約定情報	○	○	○	-	日次	16:00
9	四本値（カーボン・クレジット）	○	○	○	-	日次	16:00

3. 3 データフォーマット

対象ファイル	留意事項
銘柄マスタ 四本値（現物） 信用取引週末現在高（申込日付）	<ul style="list-style-type: none"> ・「項目名称」がファイルの一行目に設定されます。 ・各項目間の区切りに「,」（カンマ：1バイト）を挿入します。 ・全てのファイルについて、ヘッダを含む全データを半角ダブルコーテーション（"）で囲みます。 Null データの場合も半角ダブルコーテーション（"）で囲むため、""と表示されます。 （CSV ファイルを Microsoft® Excel で御利用される場合には、半角ダブルコーテーション（"）は表示されません。） ・*Microsoft®は、米国 Microsoft® Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。 ・Len は収録されるデータ長の最大値を表記しております。（最大値には半角ダブルコーテーション（"）は含まれておりません。）
四本値（デリバティブ）	<ul style="list-style-type: none"> ・文字コードは ShiftJIS となります。 ・レコードサイズは 657 バイトです。 ・項目長はファイルの各項目において固定長です。 項目区切り文字はありません。 ・データの種別は、文字列（Character）です。
銘柄メンテナンスファイル	<ul style="list-style-type: none"> ・文字コードは ShiftJIS コードです。 ・レコード形式は可変長 CSV です。 ・項目長はファイルの各項目において可変長です。 ・項目長・項目区切りは「,」（カンマ：1バイト）を挿入し、原則として、ゼロやスペースによるパディングは行いません。 ・データ項目におけるデータの種別は C：文字列（Character）または N：数字（Number）にて表しています。
上場会社株式数	<ul style="list-style-type: none"> ・文字コードは ShiftJIS コードとなります。 ・レコードサイズは 83 バイト（改行文字 1 バイトを含む）です。 ・項目長はファイルの各項目において固定長です。 項目区切りとして、「,」（カンマ：1バイト）を挿入します。 ・1レコードごとに、改行コードを挿入します。改行コードは、LF (0x0a) を利用します。 ・データの種別は、文字列（Character）です。 ・レコードレイアウトについては、別紙「データレイアウトフォーム上場会社株式数」をご参照ください。
転換行使状況	<ul style="list-style-type: none"> ・文字コードは ShiftJIS コードとなります。 ・各項目間の区切りに、「,」（カンマ：1バイト）を挿入します。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Len は収録されるデータ長の最大値（ダブルクォーテーションは含まない値）を表記しております。 ・ 全てのファイルについて、全データを半角ダブルクォーテーション（"）で囲みます。 NULL データの場合も半角ダブルクォーテーション（"）で囲むため、""と表示されます。 （CSV ファイルを Microsoft® Excel で御利用される場合には、半角ダブルクォーテーション（"）は表示されません。） <p>*Microsoft®は、米国 Microsoft® Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。</p>
ToSTNeT 取引 超大口約定情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字コードは ShiftJIS です。 ・ レコード形式は可変長 CSV です。 ・ 「項目名称」がファイルの一行目に設定されます。 ・ 各項目間の区切りに「,」（カンマ：1バイト）を挿入します。 ・ 以下の項目については半角ダブルクォーテーション（"）で囲みます。 Price_yen Trading_Volume_shares Trading_Value_yen <p>（CSV ファイルを Microsoft® Excel でご利用される場合には、半角ダブルクォーテーション（"）は表示されません。）</p> <p>*Microsoft®は、米国 Microsoft® Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Len は収録されるデータ長の最大値を表記しております。（最大値には半角ダブルクォーテーション（"）は含まれておりません。）
四本値（カーボン・クレジット）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字コードは UTF-8 です。 ・ レコード形式は可変長 CSV です。 ・ 各項目間の区切りに「,」（カンマ：1バイト）を挿入します。 ・ 2 行目に約定日を記載します。 ・ 4 行目にヘッダーがあり、5 行目以降にデータを記載します。 <p>（CSV ファイルを Microsoft® Excel でご利用される場合には、半角ダブルクォーテーション（"）は表示されません。）</p> <p>*Microsoft®は、米国 Microsoft® Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Len は収録されるデータ長の最大値を表記しております。（最大値には半角ダブルクォーテーション（"）は含まれておりません。）

3. 4 提供ファイル内容

3. 4. 1 銘柄マスタ

3. 4. 1. 1. 提供レコード

設定される情報内容は、情報提供日の翌営業日（当該日は「適用日」としてファイル内にも設定されています。）時点における各銘柄のマスタ情報です。なお、設定内容については、以下の点にご留意ください。

- ・新規上場銘柄の場合は、新規上場日の前営業日に配信するファイルから収録対象になります。また上場廃止銘柄の場合は、上場廃止日の前営業日に配信するファイルから収録対象外となります。
- ・情報提供日の当日に設定内容に変更が生じた場合、配信ファイルの作成タイミングに間に合わず、当該変更は反映されない可能性があります。この場合、変更内容は翌営業日以降にご提供します。

3. 4. 1. 2. データ項目

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
1	適用日	情報適用年月日を示す。 YYYYMMDD 形式（西暦年月日）	8	
2	銘柄コード	証券コード協議会が定める銘柄を一意に識別するコードを管理する。 株式銘柄の場合：半角スペース 4 桁、証券コード協議会の定める固有名コード（4 桁）、予備コード（1 桁）の合計 9 桁。ただし、普通株式の予備コードには'0'を設定する。	9	
3	ISIN	当該銘柄の ISIN コードを示す。 コード体系は「証券コード協議会」の規定に準ずる。 「国名コード（2 桁）」+「発行体コード（6 桁）」+「証券種類コード（3 桁）」+「チェックデジット（1 桁）」	12	
4	商号	当該銘柄の商号を示す。	240	
5	銘柄略称	当該銘柄の銘柄略称を示す。	240	
6	英文商号	当該銘柄の英文商号を示す。	240	
7	業種分類(コード)	業種コードをセット	4	「3. 4. 1. 3. 業種コード」

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
				及び業種名」参照
8	売買単位	当該銘柄の売買単位	13	
9	単元株数	単元株数を示す。単元株制度を採用していない場合は、NULL をセット	8	
10	株主名簿管理人名	株主名簿管理人の名称	140	
11	予備フィールド	Null をセット	400	
12	予備フィールド	Null をセット	400	
13	予備フィールド	Null をセット	400	
14	決算期	決算期を設定。決算期は、通常決算/変則決算 1/変則決算 2 の何れかを示す。 MMDD 形式 (月日) 2 月末の場合は日部分 (DD) を” 99” 固定とする。	4	
15	中間決算期	中間決算期を設定。中間決算期は、通常決算/変則決算 1/変則決算 2 の何れかを示す。 MMDD 形式 (月日) 2 月末の場合は日部分 (DD) を” 99” 固定とする。中間決算のない場合及び変則決算の場合は” 0000” をセット。	4	
16	変則決算期間開始日	変則決算期間開始日を示す。YYYYMMDD 形式 (西暦年月日)	8	変則決算となることが予定されている場合、決算期変更の効力発生日より前に情報を設定する可能性があります。
17	変則決算期間終了日	変則決算期間終了日を示す。YYYYMMDD 形式 (西暦年月日)	8	
18	定款配当基準日 1	通常決算期間中における定款配当基準日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、通常決算の場合に設定。 MMDD 形式 (月日) 2 月末の場合は日部分 (DD) を” 99” 固定とする。 REIT、ETF 等 (証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄) の場合常に NULL	4	
19	定款配当基準日 2	通常決算期間中における定款配当基準日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、通常決算の場合に設定。	4	

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
		MMDD 形式 (月日) 2 月末の場合は日部分 (DD) を” 99” 固定とする。 REIT、ETF 等 (証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄) の場合常に NULL		
20	定款配当基準日 3	通常決算期間中における定款配当基準日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、通常決算の場合に設定。 MMDD 形式 (月日) 2 月末の場合は日部分 (DD) を” 99” 固定とする。 REIT、ETF 等 (証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄) の場合常に NULL	4	
21	定款配当基準日 4	通常決算期間中における定款配当基準日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、通常決算の場合に設定。 MMDD 形式 (月日) 2 月末の場合は日部分 (DD) を” 99” 固定とする。 REIT、ETF 等 (証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄) の場合常に NULL	4	
22	定款配当基準日 5	通常決算期間中における定款配当基準日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、通常決算の場合に設定。 MMDD 形式 (月日) 2 月末の場合は日部分 (DD) を” 99” 固定とする。 REIT、ETF 等 (証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄) の場合常に NULL	4	
23	定款配当基準日 6	通常決算期間中における定款配当基準日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、通常決算の場合に設定。 MMDD 形式 (月日) 2 月末の場合は日部分 (DD) を” 99” 固定とする。 REIT、ETF 等 (証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄) の場合常に NULL	4	
24	変則決算期間 1 配 当基準日 1	変則事業年度 (第 1 期) における配当基準年月日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、変則決算期間 1 の場合に設定。 YYYYMMDD 形式 (西暦年月日) REIT、ETF 等 (証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄) の場合常に NULL	8	
25	変則決算期間 1 配 当基準日 2	変則事業年度 (第 1 期) における配当基準年月日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、変則決算期間 1 の場合に設定。 YYYYMMDD 形式 (西暦年月日) REIT、ETF 等 (証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄) の場合常に NULL	8	

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
26	変則決算期間1 配 当基準日3	変則事業年度（第1期）における配当基準年月日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、変則決算期間1の場合に設定。 YYYYMMDD形式（西暦年月日） REIT、ETF等（証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄）の場合常に NULL	8	
27	変則決算期間1 配 当基準日4	変則事業年度（第1期）における配当基準年月日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、変則決算期間1の場合に設定。 YYYYMMDD形式（西暦年月日） REIT、ETF等（証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄）の場合常に NULL	8	
28	変則決算期間1 配 当基準日5	変則事業年度（第1期）における配当基準年月日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、変則決算期間1の場合に設定。 YYYYMMDD形式（西暦年月日） REIT、ETF等（証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄）の場合常に NULL	8	
29	変則決算期間1 配 当基準日6	変則事業年度（第1期）における配当基準年月日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、変則決算期間1の場合に設定。 YYYYMMDD形式（西暦年月日） REIT、ETF等（証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄）の場合常に NULL	8	
30	変則決算期間2 配 当基準日1	変則事業年度（第2期）における配当基準年月日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、変則決算期間2の場合に設定。 YYYYMMDD形式（西暦年月日） REIT、ETF等（証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄）の場合常に NULL	8	
31	変則決算期間2 配 当基準日2	変則事業年度（第2期）における配当基準年月日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、変則決算期間2の場合に設定。 YYYYMMDD形式（西暦年月日） REIT、ETF等（証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄）の場合常に NULL	8	
32	変則決算期間2 配 当基準日3	変則事業年度（第2期）における配当基準年月日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、変則決算期間2の場合に設定。 YYYYMMDD形式（西暦年月日）	8	

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
		REIT、ETF等（証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄）の場合常に NULL		
33	変則決算期間2 配 当基準日4	変則事業年度（第2期）における配当基準年月日を示す。 別項目、決算期/中間決算期の設定内容が、変則決算期間2の場合に設定。 YYYYMMDD形式（西暦年月日） REIT、ETF等（証券種類等識別コード 0A、B1、B2 銘柄）の場合常に NULL	8	
34	東証・新規上場フ ラグ	当該銘柄が翌営業日に上場する場合、“1”をセット、左記以外は“0”をセット 東証上場銘柄以外の場合にはNullをセット	1	
35	予備フィールド	Nullをセット	8	
36	東証・市場区分（コ ード）	当該銘柄の市場区分（コード）をセット 東証上場銘柄以外の場合Nullをセット	1	「3.4.1. 4.市場区分（コ ード） 市場区分（コ ード）」参照
37	東証・信用区分（コ ード）	“1”（信用銘柄）、”2”（貸借銘柄）、”0”（その他） 東証上場銘柄以外の場合、0又は△（半角スペース）をセット	1	0又は△の設定 については、 「3.4.1. 5.銘柄マスタ の各取引所の信 用区分の表示内 容について」参 照
38	東証・信用区分（名 称）	“信”（1）、”貸”（2）、”スペース（半角1桁）”（0）、”NULL”（△：半角スペース） 東証上場銘柄以外の場合、△（半角スペース）又はNullをセット	140	
39	大証・新規上場フ ラグ	当該銘柄が翌営業日に上場する場合、“1”をセット、左記以外は“0”をセット 大証上場銘柄以外の場合Nullをセット	1	
40	予備フィールド	Nullをセット	8	
41	大証・市場区分（コ ード）	当該銘柄の市場区分（コード）をセット 大証上場銘柄以外の場合Nullをセット	1	「3.4.1. 4.市場区分（コ ード）」参照
42	大証・信用区分（コ ード）	“1”（信用銘柄）、”2”（貸借銘柄）、”0”（その他） 大証上場銘柄以外の場合、0又は△（半角スペース）をセット	1	0又は△の設定 については、

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
				「3. 4. 1. 5. 銘柄マスタの各取引所の信用区分の表示内容について」参照
43	大証・信用区分(名称)	“信”(1)、“貸”(2)、“スペース(半角1桁)”(0)、“NULL”(△:半角スペース) 大証上場銘柄以外の場合は、△(半角スペース)又はNullをセット	140	
44	名証・新規上場フラグ	当該銘柄が翌営業日に上場する場合、“1”をセット、左記以外は“0”をセット 名証上場銘柄以外の場合はNullをセット	1	
45	予備フィールド	Nullをセット	8	
46	名証・市場区分(コード)	当該銘柄の市場区分(コード)をセット 名証上場銘柄以外の場合はNullをセット	1	「3. 4. 1. 4. 市場区分(コード)参照」
47	名証・信用区分(コード)	“1”(信用銘柄)、“2”(貸借銘柄)、“0”(その他) 名証上場銘柄以外の場合は、0又は△(半角スペース)をセット	1	0又は△の設定については、 「3. 4. 1. 5. 銘柄マスタの各取引所の信用区分の表示内容について」参照
48	名証・信用区分(名称)	“信”(1)、“貸”(2)、“スペース(半角1桁)”(0)、“NULL”(△:半角スペース) 名証上場銘柄以外の場合は、△(半角スペース)又はNullをセット	140	
49	福証・新規上場フラグ	当該銘柄が翌営業日に上場する場合、“1”をセット、左記以外は“0”をセット 福証上場銘柄以外の場合はNullをセット	1	
50	予備フィールド	Nullをセット	8	
51	福証・市場区分(コード)	当該銘柄の市場区分(コード)をセット 福証上場銘柄以外の場合はNullをセット	1	「3. 4. 1. 4. 市場区分(コード)」参照
52	福証・信用区分(コード)	“1”(信用銘柄)、“2”(貸借銘柄)、“0”(その他) 福証上場銘柄以外の場合は、0又は△(半角スペース)をセット	1	0又は△の設定については、

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
				「3. 4. 1. 5. 銘柄マスタの各取引所の信用区分の表示内容について」参照
53	福証・信用区分(名称)	“信”(1)、“貸”(2)、“スペース(半角1桁)”(0)、“NULL”(△:半角スペース) 福証上場銘柄以外の場合は、△(半角スペース)又はNullをセット	140	
54	札証・新規上場フラグ	当該銘柄が翌営業日に上場する場合、“1”をセット、左記以外は“0”をセット 札証上場銘柄以外の場合はNullをセット	1	
55	予備フィールド	Nullをセット	8	
56	札証・市場区分(コード)	当該銘柄の市場区分(コード)をセット 札証上場銘柄以外の場合はNullをセット	1	「3. 4. 1. 4. 市場区分(コード)」参照
57	札証・信用区分(コード)	“1”(信用銘柄)、“2”(貸借銘柄)、“0”(その他) 札証上場銘柄以外の場合は、0又は△(半角スペース)をセット	1	0又は△の設定については、 「3. 4. 1. 5. 銘柄マスタの各取引所の信用区分の表示内容について」参照
58	札証・信用区分(名称)	“信”(1)、“貸”(2)、“スペース(半角1桁)”(0)、“NULL”(△:半角スペース) 札証上場銘柄以外の場合は、△(半角スペース)又はNullをセット	140	
59	JQ・新規上場フラグ	当該銘柄が翌営業日に上場する場合、“1”をセット、左記以外は“0”をセット JQ上場銘柄以外の場合はNullをセット	1	
60	予備フィールド	Nullをセット	8	
61	JQ・市場区分(コード)	当該銘柄の市場区分(コード)をセット JQ上場銘柄以外の場合はNullをセット	1	「3. 4. 1. 4. 市場区分(コード)」参照
62	JQ・信用区分(コード)	“1”(信用銘柄)、“2”(貸借銘柄)、“0”(その他) JQ上場銘柄以外の場合は、0又は△(半角スペース)をセット	1	0又は△の設定については、

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
				「3. 4. 1. 5. 銘柄マスタの各取引所の信用区分の表示内容について」参照
63	JQ・信用区分(名称)	“信”(1)、“貸”(2)、“スペース(半角1桁)”(0)、“NULL”(△:半角スペース) JQ上場銘柄以外の場合は、△(半角スペース)又はNullをセット	140	
64	日証・新規上場フラグ	当該銘柄が翌営業日に上場する場合、“1”をセット、左記以外は“0”をセット 日証銘柄以外の場合はNullをセット	1	
65	予備フィールド	Nullをセット	8	
66	日証・市場区分(コード)	当該銘柄の市場区分(コード)をセット 日証銘柄以外の場合はNullをセット	1	「3. 4. 1. 4. 市場区分(コード)参照」
67	日証・信用区分(コード)	“1”(信用銘柄)、“2”(貸借銘柄)、“0”(その他) 日証銘柄以外の場合は、0又は△(半角スペース)をセット	1	0又は△の設定については、「3. 4. 1. 5. 銘柄マスタの各取引所の信用区分の表示内容について」参照
68	日証・信用区分(名称)	“信”(1)、“貸”(2)、“スペース(半角1桁)”(0)、“NULL”(△:半角スペース) 日証銘柄以外の場合は、△(半角スペース)又はNullをセット	140	
69	配当落ち	当該銘柄の本適用日が配当権利落日の該当日かを表すフラグ “1”(該当する) それ以外はNull	1	権利落日初日のみ“1”(該当する)が設定される
70	新株落ち(株式分割)	当該銘柄の本適用日が株式分割権利落日の該当日かを表すフラグ “1”(該当する) それ以外はNull	1	権利落日初日のみ“1”(該当する)が設定される

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
71	新株落ち（株主割当）	当該銘柄の本適用日が株主割当権利落日の該当日かを表すフラグ “1 “（該当する） それ以外は Null	1	権利落日初日のみ “1 “（該当する）が設定される
72	権利落ち（臨時株主総会）	当該銘柄の本適用日が臨時株主総会権利落日の該当日かを表すフラグ “1 “（該当する） それ以外は Null	1	権利落日初日のみ “1 “（該当する）が設定される
73	その他権利落ち	当該銘柄の本適用日がその他権利落ちの該当日かを表すフラグ “1 “（該当する） それ以外は Null	1	権利落日初日のみ “1 “（該当する）が設定される
74	その他権利落ち事由（コード）	“1 “（株式無償割当）、“2 “（新株予約権無償割当）、“3 “（募集新株予約権の株主割当）、 “4 “（現物配当）、“5 “（総株主通知請求）、“9 “（その他）	1	重複して発生した場合、最小のレコードを採用する
75	その他権利落ち事由（名称）	“株式無償割当 “（1）、“新株予約権無償割当 “（2）、“募集新株予約権の株主割当 “（3）、 “現物配当 “（4）、“総株主通知請求”（5）、“その他 “（9）	140	（コード：1、2で重複した場合、1を採用する。）
76	予備フィールド	Null をセット	1	
77	予備フィールド	Null をセット	1	
78	予備フィールド	Null をセット	1	
79	予備フィールド	Null をセット	140	
80	予備フィールド	Null をセット	140	
81	予備フィールド	Null をセット	27	

注1. 各取引所の新規上場フラグ（No. 34、39、44、49、54、59、64）は、新規上場日が非営業日にあたる場合、直前営業日に提供するファイルに同フラグは設定されませんのでご注意ください。

注2. 市場区分が「日証（日本証券業協会のグリーンシート等）」に該当する場合、原則、以下の項目には Null が設定されます。
（No. 9）

注3. 同一の発行体が優先株等の複数の種類の株式を上場している場合、2銘柄目以降の上場銘柄については、原則、以下の項目には Null が設定されま

す。(No.9)

注4. No.39、41～43の「大証」は旧大阪証券取引所、59、61～63の「JQ」は旧ジャスダック証券取引所を示します。

3. 4. 1. 3. 業種コード及び業種名

0050	水産・農林業	3750	精密機器
1050	鉱業	3800	その他製品
2050	建設業	4050	電気・ガス業
3050	食料品	5050	陸運業
3100	繊維製品	5100	海運業
3150	パルプ・紙	5150	空運業
3200	化学	5200	倉庫・運輸関連業
3250	医薬品	5250	情報・通信業
3300	石油・石炭製品	6050	卸売業
3350	ゴム製品	6100	小売業
3400	ガラス・土石製品	7050	銀行業
3450	鉄鋼	7100	証券・商品先物取引業
3500	非鉄金属	7150	保険業
3550	金属製品	7200	その他金融業
3600	機械	8050	不動産業
3650	電気機器	9050	サービス業
3700	輸送用機器	9999	その他

3. 4. 1. 4. 市場区分(コード)

項番	市場	項目	コード	備考	項番	市場	項目	コード	備考
1	東証	非上場	NULL		29		上場廃止	9	
2		市場一部	1		30	札証	非上場	NULL	
3		市場二部	2		31		本則	1	
4		マザーズ	3		32		アンビシャス	3	
5		その他	5		33		その他	5	
6		JASDAQ スタンダード	6		34		上場廃止	9	
7		JASDAQ グロース	7		35	JASDAQ	非上場	NULL	注1 参照
8		TOKYO PRO Market	8		36		本則	1	注1 参照
9		上場廃止	9		37		NEO	2	注1 参照
10		プライム	A		38		上場廃止	9	注1 参照
11		スタンダード	B		39	日証協	非上場	NULL	
12		グロース	C		40		グリーンシート等	3	
13	大証	非上場	NULL	注1 参照	41		上場廃止	9	
14		市場一部	1	注1 参照	注1. 項番 13~18 は旧大阪証券取引所を、35~38 は旧ジャスダック証券取引所を示します。				
15		市場二部	2	注1 参照					
16		JASDAQ	3	注1 参照					
17		その他	5	注1 参照					
18		上場廃止	9	注1 参照					
19	名証	非上場	NULL						
20		プレミア	1						
21		メイン	2						
22		ネクスト	3						
23		その他	5						
24		上場廃止	9						
25	福証	非上場	NULL						
26		本則	1						
27		Q-Board	3						
28		その他	5						

3. 4. 1. 5. 銘柄マスタの各取引所の信用区分の表示内容について

TMI コーポレートアクション情報のコンテンツである「個別銘柄属性変更」において、いずれかの取引所における市場区分又は信用区分に変更が発生した場合、当該レコードの適用日以降は、非上場の取引所（「市場区分=NULL」）における「信用区分」は、「0」を設定します。（下記の「例2」参照）
 上記以外のケース（市場区分又は信用区分に変更が発生していない場合）においては、非上場の取引所における「信用区分」には、「△」を設定します。（下記の「例1参照」）

（例1）いずれかの取引所における市場区分又は信用区分に変更が発生していない場合

銘柄コード	東証		大証		名証	
	市場区分	信用区分	市場区分	信用区分	市場区分	信用区分
1301	1	1	NULL	△	NULL	△

↓

（例2）東証信用区分の変更が発生したため、東証信用区分の変更に加え、その他の非上場の取引所の「信用区分」を「0」に変更します。

銘柄コード	東証		大証		名証	
	市場区分	信用区分	市場区分	信用区分	市場区分	信用区分
1301	1	2	NULL	0	NULL	0

3. 4. 2 四本値（現物）

3. 4. 2. 1. データ項目

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
1	日付	データ提供年月日を示す。 YYYYMMDD形式（西暦年月日）	8	
2	取引所コード	当該銘柄を取り扱っている取引所を識別するコード ‘01’ 東京証券取引所	2	
3	株式債券種別コード	株式、債券の種類を識別するコード ‘13’ 外国株式、外国投資証券、外国投資信託受益証券 ‘21’ プライム（内国） ‘22’ スタンダード（内国） ‘23’ グロース（内国） ‘24’ TOKYO PRO Market（内国） ‘25’ 内国投資証券 ‘26’ 内国投資信託受益証券 ‘51’ 転換社債型新株予約権付社債 ‘61’ 新株予約権付社債 ‘62’ 新株予約権証券、交換社債	2	
4	銘柄コード	証券コード協議会が定める、銘柄を一意に識別するコードを管理する。 株式銘柄の場合：半角スペース4桁、証券コード協議会の定める固有名コード（4桁）、予備コード（1桁）の合計9桁。ただし、普通株式（新株式を除く）の予備コードには‘0’を設定する。 債券銘柄の場合：証券コード協議会の定める予備コード（1桁）、回記号コード（4桁）、固有名コード（4桁）の合計9桁。	9	
5	ISIN	当該銘柄の ISIN コードを示す。 コード体系は「証券コード協議会」の規定に準ずる。 「国名コード（2桁）」+「発行体コード（6桁）」+「証券種類コード（3桁）」+「チェックデジット（1桁）」 外国株式等については、NULL をセットする。	12	

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
6	前場始値	当該銘柄の前場始値 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
7	前場高値	当該銘柄の前場高値 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
8	前場安値	当該銘柄の前場安値 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
9	前場終値	当該銘柄の前場終値 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
10	後場始値	当該銘柄の後場始値 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
11	後場高値	当該銘柄の後場高値 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
12	後場安値	当該銘柄の後場安値 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
13	後場終値	当該銘柄の後場終値 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
14	日通し始値	当該銘柄の始値 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
15	日通し高値	当該銘柄の高値 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
16	日通し安値	当該銘柄の安値 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
17	日通し終値	当該銘柄の終値 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
18	特別気配コード	‘1’: 売り、‘2’: 買い、‘△’: その他	1	△(半角スペース)
19	特別気配値段	当該銘柄の特別気配値段 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照 先頭1桁は、符号を示す。	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照
20	清算値段	常に“0.0000”	20	
21	売買高	当該銘柄の売買高 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」参照	21	付録1参照
22	売買代金	当該銘柄の売買代金 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」	21	付録1参照
23	VWAP	当該銘柄のVWAP 単位は「3. 4. 2. 2.各種単位の詳細」	20	・初期値は0.0000 ・付録1参照

3. 4. 2. 2. 各種単位の詳細

No.	株式債券種別名称	株式債券種別	値段 (単位)	売買高 (単位)	清算値段 (単位)	売買代金 (単位)	VWAP (単位)
1	外国株式等	13	0.0001 円	1 株又は 1 口	—	1 円	0.0001 円
2	プライム (内国)	21	0.0001 円	1 株又は 1 口	—	1 円	0.0001 円
3	スタンダード (内国)	22	0.0001 円	1 株又は 1 口	—	1 円	0.0001 円
4	グロース (内国)	23	0.0001 円	1 株又は 1 口	—	1 円	0.0001 円
5	TOKYO PRO Market (内国)	24	0.0001 円	1 株又は 1 口	—	1 円	0.0001 円
6	内国投資証券	25	0.0001 円	1 口	—	1 円	0.0001 円
7	内国投資信託受益証券	26	0.0001 円	1 口	—	1 円	0.0001 円
8	転換社債型新株予約権付社債 (CB)	51	0.0001 円	1 円	—	1 円	0.0001 円
9	新株予約権付社債 (WB)	61	0.0001 円	1 円	—	—	—
10	新株予約権証券 (SW)	62	0.0001 円	1 証券	—	—	—
11	交換社債 (EB)	62	0.0001 円	1 円	—	—	—

3. 4. 3 信用取引週末現在残高（申込日付）

3. 4. 3. 1. 提供レコード

原則、提供日の前週末を申込現在日とする情報を提供します。

例：2022年4月5日に、2022年4月1日を申込日とする情報を提供。

3. 4. 3. 2. データ項目

No	項目名称	データ内容	Len	備考
1	銘柄コード	<p>○ No. 2「合計区分」が0(明細)の場合 予備コードを含む銘柄コードを前スペース、右詰でセット。 株式・投信等：銘柄コード(5桁)をセット。株式の予備コードがない場合は0をセット。 例：6758 → ΔΔΔΔ67580</p> <p>○ No. 2「合計区分」が0(明細)以外の場合 すべてスペースをセット。</p>	9	Δ(半角スペース)

No	項目名称	データ内容	Len	備考
2	合計区分	明細レコード・合計レコードを識別する区分 0：明細 1：貸借銘柄合計 2：貸借銘柄プライム市場合計 3：貸借銘柄スタンダード市場合計 4：貸借銘柄グロース市場合計 5：貸借銘柄投信等合計 6：貸借銘柄以外の制度信用銘柄合計 7：貸借銘柄以外の制度信用銘柄プライム市場合計 8：貸借銘柄以外の制度信用銘柄スタンダード市場合計 9：貸借銘柄以外の制度信用銘柄グロース市場合計 A：貸借銘柄以外の制度信用銘柄投信等合計 B：その他（非貸借・非信用銘柄）合計 C：その他（非貸借・非信用銘柄）プライム市場合計 D：その他（非貸借・非信用銘柄）スタンダード市場合計 E：その他（非貸借・非信用銘柄）グロース市場合計 F：その他（非貸借・非信用銘柄）投信等合計 G：総合計 H：プライム市場総合計 I：スタンダード市場総合計 J：グロース市場総合計 K：投信等総合計 M：貸借銘柄 TOKYO PRO Market 合計 O：貸借銘柄以外の制度信用銘柄 TOKYO PRO Market 合計 Q：その他（非貸借・非信用銘柄） TOKYO PRO Market 合計 S：TOKYO PRO Market 総合計	1	
3	売合計信用取引週末残高	一般信用、制度信用の信用取引週末売残高合計	27	「3. 4. 3. 3. No. 3~14の数値項目について」及び付録1参照
4	売合計週末残高前週比	一般信用、制度信用の信用取引週末売残高合計の前週比	27	同上

No	項目名称	データ内容	Len	備考
5	買合計信用取引週末残高	一般信用、制度信用の信用取引週末買残高合計	27	同上
6	買合計信用週末残高前週比	一般信用、制度信用の信用取引週末買残高合計の前週比	27	同上
7	売一般信用取引週末残高	一般信用の信用取引週末売残高	27	同上
8	売一般週末残高前週比	一般信用の信用取引週末売残高の前週比較	27	同上
9	売制度信用取引週末残高	制度信用の信用取引週末売残高	27	同上
10	売制度週末残高前週比	制度信用の信用取引週末売残高の前週比	27	同上
11	買一般信用取引週末残高	一般信用の信用取引週末買残高	27	同上
12	買一般週末残高前週比	一般信用の信用取引週末買残高の前週比	27	同上
13	買制度信用取引週末残高	制度信用の信用取引週末買残高	27	同上
14	買制度週末残高前週比	制度信用の信用取引週末買残高の前週比	27	同上
15	銘柄区分	銘柄の識別区分 1：信用銘柄 2：貸借銘柄 3：その他（非貸借・非信用銘柄） △：合計レコードについては、△をセット	1	△（半角スペース）
16	申込日	申込み現在日を YYYYMMDD の形式でセット。 年(YYYY)は西暦4桁。月(MM)・日(DD)が1桁の場合は、先頭に0をセット。 例：2022年04月01日 → 20220401	8	

3. 4. 3. 3. No.3~14の数値項目について

- ・ 数値は、株式については、株単位、投信等については、口単位で設定します。(小数点以下5桁までの表示になります)
- ・ 数値は、可変長で提供しますので、前0や、前スペースによる桁埋めはしません。負数の場合は、数値の直前に「-」を付加します。
例：250000 → 250000.00000
-30000 → -30000.00000

3. 4. 3. 4. 明細レコードと合計レコード

提供レコードは、明細レコードと合計レコードに分かれます。各々の提供内容は以下の通りです。

① 明細レコード

東京証券取引所上場の内国株式及び内国投信等、並びに外国株券及び外国預託証券等の銘柄毎の信用取引週末現在高を収録します。

② 合計レコード

(a) 貸借銘柄の合計、(b) 貸借銘柄以外の制度信用銘柄の合計、(c) その他(非貸借・非信用銘柄)の合計、(d) (a)~(c)の合計を、(e) プライム、(f) スタンダード、(g) グロース、(h) 投信等、(k) TOKYO PRO Market、(i) (e)~(h)及び(k)の合計に分類して収録します。

合計レコードにおける分類と、「3.4.3」のNo.2「合計区分」に設定される値の関係は下表の通りです。

	(a) 貸借銘柄	(b) 貸借銘柄以外の制度信用銘柄	(c) その他(非貸借・非信用銘柄)	(d) (a)~(c)の合計
(i) (e)~(h)及び(k)の合計	1	6	B	G
(e) プライム (プライム外国株を含む)	2	7	C	H
(f) スタンダード (スタンダード外国株を含む)	3	8	D	I
(g) グロース (グロース外国株を含む)	4	9	E	J
(h) 投信等 (その他外国証券を含む)	5	A	F	K
(k) TOKYO PRO Market	M	0	Q	S

3. 4. 4 四本値（デリバティブ）

3. 4. 4. 1. 提供レコード

提供日におけるデリバティブ銘柄ごとの日々の四本値情報を提供します。
フレックス銘柄は収録対象外です。

3. 4. 4. 2. データ項目

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
1	レコード区分	"2"を設定する。	1	
2	ファイル識別	"001"を設定する。	3	
3	商品取引識別	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照	2	
4	予備	空白を設定する。	4	
5	予備	空白を設定する。	2	
6	ポスト区分	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照	3	
7	銘柄コード	各銘柄の銘柄コード9桁を左詰で設定する。	12	
8	サインフラグ	次項目が負数の場合"-","正数の場合"+"、ゼロの場合空白を設定する。	1	
9	基準値段	各銘柄の当日営業日の基準値段を設定する。 (前 zero、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	
10	サインフラグ	次項目が負数の場合"-","正数の場合"+"、ゼロの場合空白を設定する。	1	
11	前場始値成立値段	始値の値段を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	*1
12	前場始値成立日付	始値の成立した日付を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	8	*1
13	前場始値成立時刻	始値の成立した時刻を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	4	*1
14	サインフラグ	次項目が負数の場合"-","正数の場合"+"、ゼロの場合空白を設定する。	1	
15	前場高値成立値段	高値の値段を設定する。取引がない場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	*1

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
16	前場高値成立日付	高値の成立した日付を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	8	*1
17	前場高値成立時刻	高値の成立した時刻を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	4	*1
18	サインフラグ	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。	1	
19	前場安値成立値段	安値の値段を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	*1
20	前場安値成立日付	安値の成立した日付を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	8	*1
21	前場安値成立時刻	安値の成立した時刻を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	4	*1
22	サインフラグ	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。	1	
23	前場終値成立値段	終値の値段を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	*1
24	前場終値成立日付	終値の成立した日付を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	8	*1
25	前場終値成立時刻	終値の成立した時刻を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	4	*1
26	前場取引高	当該銘柄の当該場の取引高を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	18	*1
27	サインフラグ	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。	1	
28	日中始値成立値段 (後場始値成立値段)	始値の値段を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	*2
29	日中始値成立日付 (後場始値成立日付)	始値の成立した日付を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	8	*2
30	日中始値成立時刻 (後場始値成立時刻)	始値の成立した時刻を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	4	*2
31	サインフラグ	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。	1	
32	日中高値成立値段	高値の値段を設定する。	18	*2

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
	(後場高値成立値段)	取引がない場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)		
33	日中高値成立日付 (後場高値成立日付)	高値の成立した日付を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	8	*2
34	日中高値成立時刻 (後場高値成立時刻)	高値の成立した時刻を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	4	*2
35	サインフラグ	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。	1	
36	日中安値成立値段 (後場安値成立値段)	安値の値段を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	*2
37	日中安値成立日付 (後場安値成立日付)	安値の成立した日付を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	8	*2
38	日中安値成立時刻 (後場安値成立時刻)	安値の成立した時刻を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	4	*2
39	サインフラグ	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。	1	
40	日中終値成立値段 (後場終値成立値段)	終値の値段を設定する。取引がない場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	*2
41	日中終値成立日付 (後場終値成立日付)	終値の成立した日付を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	8	*2
42	日中終値成立時刻 (後場終値成立時刻)	終値の成立した時刻を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	4	*2
43	日中取引高 (後場取引高)	当該銘柄の当該場の取引高を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	18	*2
44	サインフラグ	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。	1	
45	特別気配	大引けが特別気配で引けた場合、その特別気配値段を設定する。 大引けが特別気配以外で引けた場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	
46	符号	特別気配が設定されている場合、その売り買いの符号を設定する。 売特別気配：“1” 買特別気配：“2” 特別気配が設定されていない場合は空白を設定する。	1	
47	サインフラグ	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。	1	

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
48	ナイトセッション始 値成立値段	始値の値段を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	
49	ナイトセッション始 値成立日付	始値の成立した日付を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	8	
50	ナイトセッション始 値成立時刻	始値の成立した時刻を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	4	
51	サインフラグ	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。	1	
52	ナイトセッション高 値成立値段	高値の値段を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	
53	ナイトセッション高 値成立日付	高値の成立した日付を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	8	
54	ナイトセッション高 値成立時刻	高値の成立した時刻を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	4	
55	サインフラグ	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。	1	
56	ナイトセッション安 値成立値段	安値の値段を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	
57	ナイトセッション安 値成立日付	安値の成立した日付を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	8	
58	ナイトセッション安 値成立時刻	安値の成立した時刻を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	4	
59	サインフラグ	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。	1	
60	ナイトセッション終 値成立値段	終値の値段を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。 (前ゼロ、右詰、整数部12桁、小数部6桁)	18	
61	ナイトセッション終 値成立日付	終値の成立した日付を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	8	
62	ナイトセッション終 値成立時刻	終値の成立した時刻を設定する。 取引がない場合はゼロを設定する。	4	
63	ナイトセッション取	当該銘柄の当該場の取引高を設定する。	18	

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
	引高	取引がない場合はゼロを設定する。		
64	年月日	取引日を設定する。	8	
65	予備	空白を設定する。	12	
66	予備	空白を設定する。	3	
67	予備	空白を設定する。	1	
68	予備	空白を設定する。	1	
69	予備	空白を設定する。	1	
70	予備	空白を設定する。	1	
71	予備	空白を設定する。	1	
72	予備	ゼロを設定する。	18	
73	予備	空白を設定する。	1	
74	予備	ゼロを設定する。	18	
75	商品グループ群コード	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照	3	
76	商品グループコード	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照	6	
77	商品コード	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照	10	
78	プロダクトタイプコード	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照	3	
79	限月	限月を設定する。 日経 225 ミニオプションの場合は、SQ日算出時の基準となる日付を設定する。 (金曜日(基準となる日付)が休業日であってもそのまま設定する。) 商品先物の限日取引については、20791227 を設定する。	8	
80	予備	空白を設定する。	1	
81	商品タイプ	商品タイプを設定する。	3	
82	権利行使価格	権利行使価格を設定する。(整数部 12 桁、小数部 6 桁で保持) オプション銘柄以外の場合、ゼロを設定する。	18	
83	予備	空白を設定する。	48	

*1 前場四本値項目について、前後場がある商品は前場の値、ない商品はゼロを設定する。

*2 日中四本値項目について、前後場がある商品は後場の値、ない商品は日中場の値を設定する。

3. 4. 5 銘柄メンテナンスファイル

3. 4. 5. 1. 提供レコード

日々のデリバティブ商品の銘柄メンテナンス情報を提供します。

- ・各商品レコードの提供期間は、該当銘柄の取引開始日から取引最終日の翌営業日まで（ただし、電力先物については最終決済日まで）となります。
- ・コーポレートアクションに伴うメンテナンス情報は、有価証券オプションについては適用日の前営業日に配信される2回目配信ファイルより、有価証券フレックス・オプションについては適用日の前営業日の3回目の配信ファイルより収録します。

3. 4. 5. 2. データ項目

No.	項目名称	データ内容	Len	種別	備考
1	銘柄コード	銘柄コードを設定する。	9	C	
2	基準日	基準日（YYYYMMDD）を設定する。 1回目配信ファイルの場合： 配信日を設定 2回目配信ファイルの場合： フレックスを除く銘柄については配信日の翌営業日を設定 フレックス銘柄については配信日を設定 3回目配信ファイルの場合： 配信日の翌営業日を設定	8	C	
3	配信回数	配信回数を設定する。 1:1回目 2:2回目 3:3回目	1	N	
4	取引所コード	取引所コードを設定する。 01:大阪取引所 21:東京商品取引所	2	C	
5	証券種類等識別コード	証券種類等識別コードを設定する。 (※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照	2	C	
6	商品グループ群コード	商品グループ群コードを設定する。 (※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照	3	C	
7	商品取引識別	商品取引識別を設定する。	2	C	

No.	項目名称	データ内容	Len	種別	備考
		(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照			
8	プロダクトタイプコード	プロダクトタイプコードを設定する。 (※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照	3	C	
9	商品グループコード	商品グループコードを設定する。 (※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照	6	C	
10	商品コード	商品コードを設定する。 (※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照	10	C	
11	原商品コード	当該銘柄の原商品を構成する銘柄の銘柄コード又は指数の指数コードを設定する。 ・指数オプションの場合：以下の4桁の指数コードを設定。 0000：TOPIX 8507：JPX日経インデックス400 C001：日経225 005B：東証銀行業株価指数 0075：東証REIT指数 ・国債先物オプションの場合：原商品である国債先物の銘柄コード(9桁)を設定。 ・有価証券オプションの場合：有価証券の銘柄コード(5桁)を設定。 ・商品先物オプションの場合：原商品である商品先物の銘柄コード(9桁)を設定。 ・先物銘柄の場合は、空白	9	C	
12	銘柄名称	銘柄名称を設定する。	240	C	
13	銘柄略称	銘柄略称を設定する。	240	C	
14	限月	限月(YYYYMM)を設定する。 限日取引については、“207912”を設定 フレックス銘柄については、限日の上6桁を設定 日経225ミニオプションについては、当該銘柄の限月の年(YYYY)+銘柄コードの限月の下2桁(4~5バイト目)を設定	6	C	
15	限日	限日(YYYYMMDD)を設定する。 限日取引については、“20791227”を設定 日経225ミニオプションについては、SQ日算出時の基準となる金曜日の日付を設	8	C	

No.	項目名称	データ内容	Len	種別	備考
		定（当該基準日（金曜日）が休業日であってもそのまま設定）。 フレックス銘柄については、最終決済タイプに応じ以下の日付を設定する。 SQ型：SQ日 その他：取引最終日 上記以外の銘柄については、DDに“00”を設定			
16	プットコール区分	プットコール区分を設定する。 1：プット 2：コール 先物銘柄の場合は、空白	1	C	
17	権利行使区分	権利行使区分を設定する。 1：アメリカンタイプ 2：ヨーロピアンタイプ 先物銘柄の場合は、空白	1	C	
18	権利行使価格	権利行使価格を設定する。 単位：円 （ただし、日経225オプション又は日経225ミニオプションを除く指数オプションについてはポイント） 先物銘柄の場合は、空白	18	N	
19	決済区分	決済区分を設定する。 1：現物決済方式 2：差金決済方式 先物銘柄の場合は、空白	1	C	
20	アットザマネー区分	アットザマネー区分を設定する。 0：アットザマネー銘柄でない 1：アットザマネー銘柄である 先物銘柄及びフレックス・オプションの場合は、空白	1	C	
21	中心限月フラグ	中心限月フラグを設定する。 0：中心限月でない 1：中心限月である フレックス銘柄の場合は、空白	1	C	
22	新規・追加区分	新規・追加区分を設定する。	1	C	

No.	項目名称	データ内容	Len	種別	備考
		0:新規に追加される銘柄でない 1:新規に追加される銘柄である			
23	取引開始年月日	取引開始年月日 (YYYYMMDD) を設定する。	8	C	
24	取引最終年月日	取引最終年月日 (YYYYMMDD) を設定する。 限日取引については、“20791227”を設定	8	C	
25	取引単位	取引単位を設定する。	12	N	
26	受渡単位	受渡単位を設定する。 先物銘柄の場合は、空白	20	N	
27	受渡単位調整フラグ	有価証券オプション銘柄及び有価証券フレックス・オプションにおいて、受渡単位が原株の売買単位と異なる銘柄か、否かを表すフラグを設定する。 0:受渡単位が原株の売買単位と異なる銘柄でない 1:受渡単位が原株の売買単位と異なる銘柄である 先物銘柄、有価証券オプション及び有価証券フレックス・オプション以外のオプション銘柄の場合は、空白	1	C	
28	受渡単位調整回数	受渡単位調整回数（受渡単位が異なる銘柄群を区分する番号）を設定する。 原商品のコーポレートアクション（株式分割等）により受渡単位が変更となった場合、既存銘柄群に対してカウントアップされる。 先物銘柄、有価証券オプション及び有価証券フレックス・オプション以外のオプション銘柄の場合は、空白	4	N	
29	商品通貨種別	商品通貨種別を設定する。 JPY: 日本円	3	C	
30	商品区分	商品区分を設定する。 (※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照	3	C	
31	SQ 日	SQ 日 (YYYYMMDD) を設定する。 SQ 日（電力先物における最終決済日を含む。）が存在する銘柄に限り有効な日付を設定 SQ 日が存在しない銘柄については、“99999999”を設定	8	C	
32	オプション銘柄用権利行使開始年月日	オプション銘柄における権利行使開始年月日 (YYYYMMDD) を設定する。 先物銘柄の場合は、空白	8	C	
33	オプション銘柄用権利行使最終年月日	オプション銘柄における権利行使最終年月日 (YYYYMMDD) を設定する。 先物銘柄の場合は、空白	8	C	
34	フレックス銘柄フラ	フレックス銘柄フラグを設定する。	1	C	

No.	項目名称	データ内容	Len	種別	備考
	グ	0:フレックス銘柄、オンデマンド銘柄でない 1:オンデマンド銘柄である 2:フレックス銘柄である			
35	改行コード	制御コード：LF を設定	1		

3. 4. 6 上場会社株式数

3. 4. 6. 1. 提供レコード

提供日の前月末時点の情報を提供します。

例：2021年10月20日に、2021年9月末現在の情報を提供。

※ 提供日時点での、上場会社からの申告を元に、前月末現在の株式数を提供しています。その後の訂正情報等については、JPX ウェブサイトの以下 URL に掲載されますので、あわせてご覧ください。

<https://www.jpx.co.jp/listing/co/01.html>

提供銘柄は、以下の内国銘柄です。

- ・ 普通株式（予備コードが0以外の銘柄を含む）
- ・ 投信等(REIT・ETF含む)
- ・ 優先出資証券

普通株については、東証上場銘柄及び、福岡証券取引所または札幌証券取引所にのみ上場されている銘柄を提供します。（東証に上場されておらず、名証に上場されている銘柄については提供されません）

例：

東証	名証	福証	札証	提供の有無
○	○	—	—	提供する
○	—	○	—	提供する
○	○	—	○	提供する
—	○	—	—	提供しない
—	—	○	—	提供する
—	—	—	○	提供する
—	○	○	—	提供しない
—	—	○	○	提供する

○ 上場 — 非上場

3. 4. 6. 2. データ項目

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
1	年月	レコードの対象年月(=提供年月の前月)をセット。 年は西暦4桁。月が1桁の場合は、先頭に0をセット。 例: 2021年5月 → 202105	6	
2	銘柄コード	証券コード協議会の定めるコード。予備コード0を含む。	5	
3	取引所区分	銘柄の上場されている取引所をセット。 1:東京証券取引所 6:福岡証券取引所 8:札幌証券取引所 東証上場銘柄は、福証または札証に上場されていても、1(東証)を、福証と札証にのみ上場されている場合は6(福証)をセットします。	1	
4	市場区分	1:プライム市場 2:スタンダード市場 3:グロース市場 4:投信等 8:TOKYO PRO Market △:福岡・札幌上場 △(半角スペース)	1	
5	上場会社株式数 (発行済株式数)	小数点以下5桁固定。整数部はゼロサプレスし、右詰でセット。 例:50000株 → △△△△△△△△△500000.00000 △(半角スペース)	21	
6	上場会社株式数 (上場株式数)	小数点以下5桁固定。整数部はゼロサプレスし、右詰でセット。 例:50000株 → △△△△△△△△△500000.00000 △(半角スペース)	21	
7	指数用株式数	小数点以下5桁固定。整数部はゼロサプレスし、右詰でセット。 例:50000株 → △△△△△△△△△500000.00000 △(半角スペース) 指数算出対象外の銘柄は、“0.00000”をセット。 ※指数にはコンポジット指数を含みます。 優先出資証券の場合は常に“0.00000”をセット。	21	

	東証上場銘柄以外は常に“0.00000”をセット。 ※浮動株比率を反映する前の指数用株式数をセットします。		
--	--	--	--

(参考) 上場会社株式数、指数用株式数の収録内容

市場区分	発行済株式数	上場株式数	指数用株式数※1
プライム市場 スタンダード市場 グロース市場 TOKYO PRO Market	発行済株式数	上場株式数	指数用株式数※2
投信等(東証)	発行済株式数※3	上場株式数※3	指数用株式数※2
優先出資証券(東証)	発行済株式数	上場株式数	常に 0
福岡/札幌上場銘柄	発行済株式数	上場株式数	常に 0

※1 指数用株式数の対象となる主な指数は、以下の指数となります。

- ・ TOPIX
- ・ REIT 指数
- ・ 東証プライム市場指数
- ・ 東証スタンダード市場指数
- ・ 東証グロース市場指数
- ・ 旧東証市場第一部指数
- ・ 東証グロース市場 Core 指数
- ・ 東証スタンダード市場 TOP20
- ・ 東証プライム市場コンポジット指数

※2 指数算出対象外の銘柄は、0.00000 をセット

※3 国内 ETF 銘柄については、No. 1. 年月項目の値にかかわらず、各年のデータ提供年の前年 12 月末時点の値が提供されます。(2012 年 12 月 20 日まで、2012 年 3 月末時点の値がセットされます。)

3. 4. 7 転換行使状況

3. 4. 7. 1. データ項目

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
1	転換先銘柄__株数 変動要因種類	401 転換社債の転換 402 新株予約権付社債の行使 403 新株予約権の行使 404 優先株等の転換	3	
2	転換先銘柄__株数 変動要因有効開始 年月日	株数変動要因により転換・行使先の銘柄の上場株式数が増減する年月日。 例 2008年7月8日なら'20080708'と収録	8	
3	連番	転換・行使元の銘柄が複数の銘柄（権利）を保持している場合に連番を付与する。	5	連番は欠番が発生する場合があります。
4	証券種類等識別コード	03 内国株式（優先株式） 05 内国株式（後配株式） 07 内国株式（新株予約権証券） 09 内国株式（種類株式） 51 国内発行内国転換社債型新株予約権付社債（円貨建転換社債型新株予約権付社債） 52 国内発行内国転換社債型新株予約権付社債（外貨建転換社債型新株予約権付社債） 53 海外発行内国転換社債型新株予約権付社債（円貨建転換社債型新株予約権付社債） 54 海外発行内国転換社債型新株予約権付社債（外貨建転換社債型新株予約権付社債） 55 国内発行外国転換社債型新株予約権付社債（円貨建転換社債型新株予約権付社債） 56 国内発行外国転換社債型新株予約権付社債（外貨建転換社債型新株予約権付社債） 61 国内発行内国新株引受権付社債（円貨建（分離）） 62 国内発行内国新株予約権付社債（外貨建新株予約権付社債） 63 国内発行内国新株予約権付社債（円貨建新株予約権付社債） 64 海外発行内国新株予約権付社債（円貨建新株予約権付社債） 65 海外発行内国新株予約権付社債（外貨建新株予約権付社債） 66 国内発行外国新株予約権付社債（円貨建新株予約権付社債） 67 国内発行外国新株予約権付社債（外貨建新株予約権付社債）	2	
5	国内外発行区分	1: 国内発行	1	

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
		2：海外発行 新株予約権証券、種類株では半角スペース1桁。		
6	銘柄コード	転換・行使先の銘柄の銘柄コード。	9	
7	東証上場有無フラグ	0：無し 1：有り	1	
8	債券回	転換社債型新株予約権付社債、新株予約権付社債の債券回。 新株予約権証券、種類株では NULL。	40	全角が含まれます。
9	債券号	転換社債型新株予約権付社債、新株予約権付社債の債券号。 新株予約権証券、種類株では NULL。	40	全角が含まれます。
10	償還期限年月日	転換社債型新株予約権付社債、新株予約権付社債の償還期限日。 新株予約権証券、種類株では ALL9。	8	初期値 ALL9
11	発行決議年月日	転換・行使元の銘柄の発行決議日。	8	初期値 ALL9
12	外貨建銘柄通貨コード	外貨建銘柄の通貨単位を表すコード。 コード体系については、ISO4217に準拠する。 新株予約権証券、種類株では半角スペース3桁。	3	「3. 4. 8. 2. 外貨建銘柄通貨コード」参照
13	外貨建銘柄固定為替レート	外貨建銘柄の固定為替レート。 新株予約権証券、種類株では NULL。	26	「付録1（数値データについての留意点）」参照
14	転換行使金額等	転換・行使元の銘柄の転換・行使分。 ・転換社債型新株予約権付社債、新株予約権付社債は転換額面総額（単位：1円、1通貨（1ドル、1ポンド等）） ・新株予約権証券は行使証券数（単位：1証券） ・種類株は転換株式数（単位：1株）	27	「付録1（数値データについての留意点）」参照
15	上場廃止前日迄転換行使金額等	報告対象年月の月中に上場廃止し、かつ転換行使金額等が0でない転換社債型新株予約権付社債、新株予約権付社債について、上場廃止年月日の前日までの転換・行使分。 ・転換社債型新株予約権付社債、新株予約権付社債は転換額面総額（単位：1円、1通貨（1ドル、1ポンド等）） ・新株予約権証券、種類株は NULL。	27	「付録1（数値データについての留意点）」参照
16	残余金額等	転換・行使元の銘柄の残余分を管理する。	27	「付録1（数

No.	項目名称	データ内容	Len	備考
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 転換社債型新株予約権付社債、新株予約権付社債は残余额面総額（単位：1 円、1 通貨（1 ドル、1 ポンド等）） ・ 新株予約権証券は残余証券数（単位：1 証券） ・ 種類株は残余株式数（単位：1 株） 		値データについての留意点」参照
17	消却金額等	転換・行使元の銘柄の消却分を管理する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 転換社債型新株予約権付社債、新株予約権付社債は買入消却額面総額（単位：1 円、1 通貨（1 ドル、1 ポンド等）） ・ 新株予約権証券は NULL。 ・ 種類株は消却株式数（単位：1 株） 	27	「付録 1（数値データについての留意点）」参照
18	償還金額等	転換・行使元の銘柄の償還分を管理する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 転換社債型新株予約権付社債、新株予約権付社債は償還額面総額（単位：1 円、1 通貨（1 ドル、1 ポンド等）） ・ 新株予約権証券、種類株は NULL。 	27	「付録 1（数値データについての留意点）」参照
19	発行価格	種類株の 1 株あたりの発行価格。単位は 1 円、1 通貨（1 ドル、1 ポンド等）。 転換社債型新株予約権付社債、新株予約権付社債、新株予約権証券では NULL。	26	「付録 1（数値データについての留意点）」参照
20	転換先銘柄__新株式発行価額総額	転換社債型新株予約権付社債、新株予約権付社債、新株予約権証券の転換・行使に伴う新株式の発行価額の総額。 種類株では NULL。	26	「付録 1（数値データについての留意点）」参照
21	増減上場株式数	増減する上場株式数の合計。（※1） 単位は 1 株。	27	「付録 1（数値データについての留意点）」参照

※1 例) CB を第 1 回、第 2 回と 2 銘柄発行しており、同じ日付に転換された場合、第 1 回、第 2 回の転換分が合算された値となります。

3. 4. 7. 2. 外貨建銘柄通貨コード

通貨	通貨コード	通貨	通貨コード
UAE ディルハム	AED	ウォン	KPW
オーストリア・シリング	ATS	クウェート・ディナール	KWD
オーストラリア・ドル	AUD	メキシコ・ペソ	MXN
ベルギー・フラン	BEF	リングgit	MYR
カナダ・ドル	CAD	オランダ・ギルダー	NLG
スイス・フラン	CHF	ノルウェー・クローネ	NOK
人民元	CNY	ニュージーランド・ドル	NZD
ドイツマルク	DEM	パキスタン・ルピー	PKR
デンマーク・クローネ	DKK	エスクード	PTE
ペセタ	ESP	カタール・リヤル	QAR
ユーロ	EUR	サウディ・リヤル	SAR
フランス・フラン	FRF	スウェーデン・クローナ	SEK
UK ポンド	GBP	シンガポール・ドル	SGD
香港ドル	HKD	バーツ	THB
インド・ルピー	INR	アメリカ合衆国ドル	USD
イタリア・リラ	ITL	ヨーロッパ通貨単位 (ECU)	XEU
円	JPY		

3. 4. 8 ToSTNeT 取引 超大口約定情報

3. 4. 8. 1. 提供レコード

単一銘柄取引（ToSTNeT-1）において売買代金が 50 億円以上の取引（売付け及び買付けの双方が顧客の委託によるものを除く。）の情報を翌営業日（公表日）に配信します。

データが 1 件も存在しない場合はヘッダのみを表示いたします。

* データの配列順序キー ① Trading_Date (昇順) ② Code (昇順)

3. 4. 8. 2. データ項目

No.	項目名称	データ内容	Len	種別	備考
1	Publication_Date	データ配信日 (yyyyMMdd)	8	C	
2	Trading_Date	該当取引の取引日 (yyyyMMdd)	8	C	配信日の前営業日を設定
3	Trade_Time	該当取引の約定時刻 (hh:mm)	5	C	
4	Code	取引対象の銘柄コード	9	C	
5	Issue_Name_Japanese	取引対象の銘柄名 (日本語)	24	C	
6	Issue_Name_English	取引対象の銘柄名 (英語)	37	C	
7	Price_yen	該当取引の約定価格	13	C	注文値段 (8 桁) + 注文値段小数部 (4 桁) 内国株式・外国株式・ETF・REIT : 1 円の 1 万分の 1 の整数倍 CB : 額面 100 円につき 1 銭の 100 分の 1 の整数倍
8	Trading_Volume_shares	該当取引の約定株数	10	C	ETF、REIT : 口数 CB : 円
9	Trading_Value_yen	該当取引の売買代金	20	C	

3. 4. 9 四本値（カーボン・クレジット）

3. 4. 9. 1. 提供レコード

提供日におけるカーボン・クレジット市場の売買の区分ごとの日々の基準値段、四本値及び総売買高のデータを提供します。

3. 4. 9. 2. データ項目

2行目に約定日を記載します。4行目にヘッダーがあり、5行目以降にデータを記載します。

No.	項目名称	データ内容	Len	種別	備考
1	制度名	制度名（「J-クレジット」、「国内クレジット」、「J-VER」、「地域版J-クレジット、J-VER（未移行）等」）	120	C	
2	分類名	各制度名における分類名	120	C	
3	方法論名	各分類名における方法論名	120	C	
4	銘柄コード	銘柄コード	7	C	
5	【基準値段】 値段	各分類名における当日の基準値段	13	C	
6	【基準値段】 日付	当日の基準値段の適用日付	10	C	
7	【基準値段】 区分	当日の基準値段の適用セッション	120	C	※
8	始値	始値の約定価格 データが空だった場合、ハイフン（“-”）を設定します。	13	C	
9	区分_始	始値の約定セッション データが空だった場合、ハイフン（“-”）を設定します。	120	C	※
10	高値	高値の約定価格 データが空だった場合、ハイフン（“-”）を設定します。	13	C	
11	区分_高	高値の約定セッション データが空だった場合、ハイフン（“-”）を設定します。	120	C	※
12	安値	安値の約定価格 データが空だった場合、ハイフン（“-”）を設定します。	13	C	
13	区分_安	安値の約定セッション データが空だった場合、ハイフン（“-”）を設定します。	120	C	※
14	終値	終値の約定価格	13	C	

No.	項目名称	データ内容	Len	種別	備考
		データが空だった場合、ハイフン（“-”）を設定します。			
15	区分_終	終値の約定セッション データが空だった場合、ハイフン（“-”）を設定します。	120	C	※
16	売買高	1日の合計売買高 データが空だった場合、ハイフン（“-”）を設定します。	13	C	
17	【翌日（次セッション）基準値段】値段	各分類名における翌営業日の基準値段	13	C	
18	【翌日（次セッション）基準値段】日付	翌営業日の基準値段の適用日付	10	C	
19	【翌日（次セッション）基準値段】区分	翌営業日の基準値段の適用セッション	120	C	※

※セッション1は11:30、セッション2は15:00の約定になります。

4. 障害時の運用

本システムの障害時にはメールにて連絡いたします。

障害時の対応の詳細については、「JPX総研情報配信システム接続仕様書」をご参照ください。

5. お問い合わせ先

5. 1 本仕様書についてのお問い合わせ先

(株)JPX総研 クライアントサービス部

TEL : 050-3377-7831

E-mail : tminfo@jpx.co.jp

付録1 (数値データについての留意点)

四本値(現物)/ 信用取引週末現在高(申込日付)/ 転換行使状況に係る、
数値データ(コード、日時を除く)に記載の値には符号、少数点を含んでいます。

なお、四本値(現物)/ 信用取引週末現在高(申込日付)の表示形式は以下のとおりとなっています。

項番	LEN	表示形式	内容	備考
1	17	sNNNNNNNNNNNN.NN	符号(1) + 整数部(13) + 少数点(1) + 小数部(2)	
2	20	sNNNNNNNNNNNN.NNNN	符号(1) + 整数部(14) + 少数点(1) + 小数部(4)	
3	21	sNNNNNNNNNNNNNNNNN	符号(1) + 整数部(20)	
4	27	sNNNNNNNNNNNNNNNN.NNNN	符号(1) + 整数部(20) + 少数点(1) + 小数部(5)	
5	28	sNNNNNNNNNNNNNNNN.NNNNN	符号(1) + 整数部(20) + 少数点(1) + 小数部(6)	

転換行使状況の表示形式は以下のとおりとなっています。

項番	LEN	表示形式	内容	備考
1	26	sNNNNNNNNNNNNNNNN.NNNN	符号(1) + 整数部(20) + 少数点(1) + 小数部(4)	
2	27	sNNNNNNNNNNNNNNNN.NNNNN	符号(1) + 整数部(20) + 少数点(1) + 小数部(5)	

s: 符号を表します。「-」の場合のみ表示されます。

N: 数値データを表します。

変 更 歴

項番	バージョン	作成年月日	変更内容
1	1.0	2009/5/26	新規
2	1.1		N04 銘柄コードのデータ内容欄に「(新株式を除く)」を追記。
3	1.1		3.4.1 N011、15。3.4.2 N011、12 の各備考欄に「初期値は 0.0000」を追記。
4	1.1		N014、15 の「売買代金」「VWAP」の設定内容を「一律 NULL」に変更。後続の各種単位の詳細について、「売買代金」「VWAP」欄の内容を「-」変更。
5	1.1	Tdex+稼働後適用	3.4.2 の最終段落に、オプション銘柄に係る収録情報について記載。ただし本記載につきましては、Tdex+稼働後(10/5 予定)以降に適用となります。
6	1.2		N014、15 の「売買代金」「VWAP」に「一律 NULL」から収録される内容へ記載を変更。後続の各種単位の詳細についても、「売買代金」「VWAP」欄に収録される内容へ記載を変更。
7	1.2		3.4.2 の最終段落の、オプション銘柄に係る収録情報について、「売買代金」「VWAP」における記載を追加。
8	1.2		3.4.2 の最終段落に、先物スプレッド取引に係る収録情報について記載。
9	1.3	2010/1/4	△が半角スペースを意味することを明記
10	1.3	2010/1/4	株式債券種別コード「'62' 新株予約権証券」を「62' 新株予約権証券、交換社債」に変更
11	1.3	2010/1/4	3.4.1 の各種単位の詳細に「交換社債(EB)」の項目追記

項番	バージョン	作成年月日	変更内容
1 2	1.4	2011/8/5	3. 3 ファイル配信タイミングとファイルの概要について、四本値（派生）の提供時間を更新
1 3	1.4	2011/8/5	3. 4. 1 四本値（現物）の No. 3「株式債券種別コード」12 番において、内国株式（マザーズ）を追加
1 4	1.4	2011/8/5	3. 4. 2 四本値（派生）の No. 3「株式債券種別コード」において、「'69' 有価証券オプション」を追加
1 5	1.4	2011/8/5	3. 4. 2 四本値（派生）の No. 12「清算値段」備考欄を更新
1 6	1.4	2011/8/5	3. 4. 2 四本値（派生）の No. 15「VWAP」に一律、初期値「0.0000」が設定される旨記載
1 7	1.4	2011/8/5	3. 4. 2 四本値（派生）の No. 16「建玉残高」の項目追記
1 8	1.4	2011/8/5	3. 4. 2 四本値（派生）の各種単位の詳細から「VWAP（単位）」を削除
1 9	1.4	2011/8/5	3. 4. 2 四本値（派生）の各種単位の詳細に「有価証券オプション」の項目追記
2 0	1.4	2011/8/5	3. 4. 2 四本値（派生）の各種単位の詳細に「建玉残高」の列を追加
2 1	1.4	2011/8/5	3. 4. 2 四本値（派生）の各種単位の詳細で項番 3「債券先物(国債先物)」の売買高単位を更新
2 2	1.5	2011/12/12	3. 4. 2 四本値（派生）の No. 12「清算値段」備考欄の「・株価指数オプションのSQ日はNULL値を設定」の記載を削除
2 3	1.6	2012/4/26	3. 4. 1 四本値（現物）の No. 3「株式債券種別コード」に TOKYO PRO Market 銘柄を追加
2 4	1.6	2012/4/26	3. 4. 3 基準値段の No. 6「市場区分」備考欄に TOKYO PRO Market 銘柄を含む旨を追加
2 5	1.6	2012/4/26	提供レコード②の表 (g) マザーズに TOKYO PRO Market 銘柄を含む旨を追加
2 6	1.7	2013/2/1	3. 4. 1 四本値（現物）の No. 3「株式債券種別コード」に JASDAQ 銘柄を追加
2 7	1.7		3. 4. 1 四本値（現物）に前場、後場の四本値を追加

項番	バージョン	作成年月日	変更内容
28	1.7		3.4.3 基準値段の No.6「市場区分」データ内容に以下の項目を追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ “0105” (TOKYO PRO Market) ・ “0106” (JASDAQ スタンダード) ・ “0107” (JASDAQ グロース)
29	1.7		3.4.4 信用取引週末現在残高(申込日付)の No.2「合計区分」データ内容に TOKYO PRO Market、JASDAQ に関する区分を追加
30	1.7		提供レコードに JASDAQ, TOKYO PRO Market 銘柄に関する記載を追加
31	1.8	2013/9/30	「2. 接続方式」に③SFTPによる接続を追加
32	1.9	2014/11/25	3.4.2 四本値(派生)を削除
33	1.91	2016/5/20	3.3 ファイル配信タイミングとファイルの概要のゴールデンウィークや年末年始に関する記載を以下のように修正。 修正前) ゴールデンウィークや年末年始に関連して、提供サイクルが変更となる場合は、東証ホームページ (http://www.tse.or.jp/market/data/margin/index.html)に掲載いたします。 修正後) ゴールデンウィークや年末年始に関連して、提供サイクルが変更となる場合は、メールにて連絡いたします。
34	2.0	2018/4/20	3.4.4 指数四本値 「指数種別」に以下の指数を追加。ほか、'28、'29、'2B 及び'2D の指数名を修正。

項番	バージョン	作成年月日	変更内容
			' 2E' TOPIX 1000 ' 70' 東証マザーズ指数 ' 75' 東証 REIT 指数 「指数種別」の以下の指数を削除。 ' 4F' 業種別(電機) 株価指数 ' 50' 業種別(輸送) 株価指数 ' 5B' 業種別(銀行) 株価指数
35	2.1	2021/8/23	2. 接続方式の以下を削除 ①全国銀行協会連合会(全銀協)の定める通信手順による接続。 ・「全銀協標準通信プロトコル・ベーシック手順」を削除 ・「全銀協標準通信プロトコル・TCP/IP手順(arrownetを用いた接続)」を追加 2. 接続方式「②FTPによる接続」について、記載を修正。 「・総合デジタル通信網(ISDN)を用いたFTP」を削除 「・arrownetを用いたFTP」を追加。 3. 1 配信対象情報の以下を削除 ②基準値段 ⑤売買高・売買代金概算 3. 2 提供ファイルの概要の以下を削除

項番	バージョン	作成年月日	変更内容
			<p>基準値段 売買高・売買代金概算</p> <p>3. 3 ファイル配信タイミングとファイルの概要について、修正。 「基準値段」を削除 「売買高・売買代金概算」を削除 ファイル提供について、稼働時間の変更に伴い以下の通り文章を修正。 上記3. 1「配信対象情報」毎に日々1回、作成されたファイルは通常翌営業日のファイル提供時刻まで取得可能です。</p> <p>3. 4 データフォーマットの以下を削除 3. 4. 2 基準値段 3. 4. 5 売買高・売買代金概算</p>
36	2.2	2022/4/4	<p>3. 4. 2 四本値（現物） No.3 株式債券種別コードに以下を追加 ‘21’ プライム（内国） ‘22’ スタンダード（内国） ‘23’ グロース（内国） ‘24’ TOKYO PRO Market（内国） ‘25’ 内国投資証券 ‘26’ 内国投資信託受益証券</p>

項番	バージョン	作成年月日	変更内容
			※各種単位の詳細についても同様に修正。
37			<p>3. 4. 3 信用取引週末現在残高（申込日付） No.2 合計区分を以下のように変更</p> <p>0：明細 1：貸借銘柄合計 2：貸借銘柄プライム市場合計 3：貸借銘柄スタンダード市場合計 4：貸借銘柄グロース市場合計 5：貸借銘柄投信等合計 6：貸借銘柄以外の制度信用銘柄合計 7：貸借銘柄以外の制度信用銘柄プライム市場合計 8：貸借銘柄以外の制度信用銘柄スタンダード市場合計 9：貸借銘柄以外の制度信用銘柄グロース市場合計 A：貸借銘柄以外の制度信用銘柄投信等合計 B：その他（非貸借・非信用銘柄）合計 C：その他（非貸借・非信用銘柄）プライム市場合計 D：その他（非貸借・非信用銘柄）スタンダード市場合計 E：その他（非貸借・非信用銘柄）グロース市場合計 F：その他（非貸借・非信用銘柄）投信等合計 G：総合計 H：プライム市場総合計</p>

項番	バージョン	作成年月日	変更内容
			I : スタンダード市場総合計 J : グロース市場総合計 K : 投信等総合計 M : 貸借銘柄 TOKYO PRO Market 合計 O : 貸借銘柄以外の制度信用銘柄 TOKYO PRO Market 合計 Q : その他（非貸借・非信用銘柄） TOKYO PRO Market 合計 S : TOKYO PRO Market 総合計
38			3. 4. 3 信用取引週末現在残高（申込日付） 3. 提供レコード 「市場一部→プライム」、「市場二部→スタンダード」、「マザーズ→グロース」に修正し、JASDAQ を削除。
39	3.0	2022/5/13	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のファイル仕様書を統合。 <ul style="list-style-type: none"> ・銘柄マスタ ・四本値（デリバティブ） ・銘柄メンテナンスファイル ・上場会社株式数 ・転換行使 ※3.0 版以前の各ファイル仕様書における変更歴については、個別にお問い合わせください。 ・提供法人名を変更。
40			3. 4. 1 銘柄マスタ 3. 4. 1. 1. 提供レコード

項番	バージョン	作成年月日	変更内容
			<p>「注2. 市場区分が「日証（日本証券業協会のグリーンシート等）」に該当する場合、原則、以下の項目には Null 又は 0 が設定されます。（No.9）」、</p> <p>「注3. 同一の発行体が優先株等の複数の種類の株式を上場している場合、2 銘柄目以降の上場銘柄については、原則、以下の項目には Null 又は 0（ゼロ）が設定されます。（No.9）」から、「又は0」を削除。</p> <p>3. 4. 6 銘柄メンテナンスファイル 3. 4. 6. 2. データ項目 No.15のうち、Weekly オプション及びフレックス銘柄の場合について詳述別紙（商品取引識別、識別コード、種類コード一覧） 国債証券先物取引における取引種類名称変更に伴い、項番 19 商品分類を修正</p>
41	3.1	2022/5/13	<p>3. 4. 5 四本値（デリバティブ） 3. 4. 5. 2. データ項目</p> <p>以下 No.において、日付項目を追加 No.12, 16, 20, 24, 29, 33, 37, 41, 49, 53, 57, 61 ※上記仕様については、2022/8/29 から適用</p>
42	3.2	2023/5/29	<p>「指数四本値」に関する記載を削除</p> <p>3. 4. 2. 四本値（現物） 3. 4. 2. 2. 各種単位の詳細 No.6,7のうち、売買高（単位）について、1 株または 1 口を 1 口に変更</p> <p>3. 4. 4 四本値（デリバティブ）</p>

項番	バージョン	作成年月日	変更内容
			<p>3. 4. 4. 2. データ項目 No. 79 のうち、Weekly オプションを日経 225 ミニオプションに変更</p> <p>3. 4. 5 銘柄メンテナンスファイル 3. 4. 5. 2. データ項目 No. 11 のうち、ミニ日経 225、日経 Weekly を削除 No. 14, 15, 18 のうち、Weekly オプション、日経 225Weekly オプションを日経 225 ミニオプションに変更</p> <p>・別紙_商品取引識別、識別コード、種類コード一覧 商品分類 以下の商品分類を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日経 225 マイクロ先物 ・S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト指数先物 ・FTSE JPX ネットゼロ・ジャパン 500 指数先物 ・日経平均気候変動 1.5°C 目標指数先物 ・日経 225 ミニオプション ・TONA3 か月金利先物 <p>商品分類から「日経 225Weekly オプション」を削除</p>
43	3. 25	2023/10/10	<p>2. 接続方式 参照する接続仕様書に「システム接続仕様書 (ToSTNeT 取引超大口約定情報、四本値 (カーボン・クレジット)、売買内訳データ)」を追加</p>

項番	バージョン	作成年月日	変更内容
			・「ToSTNeT 超大口約定情報」及び「四本値（カーボン・クレジット）」に関する記載を追加